

「自閉症」の語源は？

英語圏では「自閉症」をどう呼称し、その語源は何か？と以前から気になっていた。

自閉症児の支援に携わる方と初めて懇談する機会を得え、厚かましく情報提供をお願いした。

スイスの精神科医オイゲン・ブローラーが統合失調症の一症状である「自分以外の世界とのかかわりを狭めるあるいは排除している状態」だからか、ギリシャ語の[autos:自己 + ism:主義、様式]に基づくドイツ語で「autismus」と命名したとか。

その後アメリカの児童精神科医レオ・カナーが、「子どもの中にも同様の状態を見せる子がいる」ということで early infant autism（早期幼児自閉症）と命名したとか。

ただ、その後カナーが追跡報告したケースは知的な発達の遅れを示す子であったため、その後自閉症は知的な遅れを伴うものとして扱われ、今はカナータイプの自閉症と言われているよう。

同時期にオーストリアの精神科医ハンス・アスペルガーは知的な遅れを伴わないが特徴的な行動を示す子どもたちがいることを報告しアスペルガー症候群と命名したとか。

その後、自閉症(カナータイプ)といわれる人たちの特徴と同様の特徴を持つ、ただし知的な遅れを伴わない方がいるということがアメリカなどを中心に主張されるようになり、自閉症の概念は広がったよう。

そして、アスペルガー症候群、高機能自閉症、などを包括する概念として自閉症スペクトラム障害:autistic spectrum disorder（ASD）が提唱されるようになり現在に至っているよう。

日常生活のスキルが身に着いていても精神を病んで「自分以外の世界とのかかわりを狭めるあるいは排除している状態」故に、「autos」の語彙を使用し「autismus」と呼称したことは何となくイメージできる。

だが、我々が係わる自閉症といわれる子どもたちは、先天性の脳機能障害による外界と係わるスキルというようなものが身に着きにくい、学習しにくいという側面からは、「autos」概念とはちょっと違うような印象を受ける。

やはり「自閉症児」という呼称でなく別な呼称が必要な気がするし、それ故、最近「発達障害児」という呼称が使われ出したのかなと思うが、「身体障害」も「発達障害」の一つと言えるだけに、これも自閉症児の本質的な障害をイメージできる呼称ではないような気がする。

自閉症児関係は、まだまだこれからの学問領域ということかな？